

2016年の台風発生状況

2016年はエルニーニョ現象の影響で北西太平洋では例年より熱帯低気圧が発生しにくい状況が続いていました。そのため、台風1号は7月に発生しましたが、これは1951年の統計開始以降では2番目に遅い1号発生です。

台風の発生数は現時点で例年よりも少ないですが、日本列島への上陸数は6個（近5年の最大上陸数4個／年）と既に例年を上回っています。また、本州を通過せずに東北地方・北海道に直接上陸した台風が3つもありました。これは観測史上初の現象です。

特に台風10号の被害は甚大で、東北地方・北海道を中心に豪雨や河川の氾濫、土砂災害をもたらしました。漁業関係でも定置網や養殖施設等で多数の被害があり、現在、共済組合で被害状況を調査している最中です。

先月号でもお伝えしましたが、このような予測できない自然災害に備えて「ぎよさい」を多くの方に活用して頂けるよう、今後引受の最盛期を向かえる漁獲共済や特定養殖共済の加入推進を中心に共済団体は一丸となって取り組んで参りますので、関係各位におかれましても、一層のご協力をお願いいたします。

近5年と2004年（10個上陸）の月別・台風上陸数（9月20日現在）

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2004年			2	1	3	2	2			10
近5年の月別最大上陸数			1	2	1	2	2			最大4
2016年					4	2				

※引用：気象庁 HP (<http://www.data.jma.go.jp/fcd/voho/typhoon/statistics/landing/landing.html>)

平成28年度の加入実績（8月末累計）

（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	28年度	27年度	前年比	28年度	27年度	前年比
漁獲共済	87,962	82,898	106%	3,960	3,547	112%
養殖共済	160,508	155,710	103%	5,356	5,503	97%
特定養殖共済	2,903	2,499	116%	146	137	107%
漁業施設共済	8,682	7,860	110%			
地域共済	4,683	4,208	111%			
合 計	264,737	253,176	105%	9,463	9,187	103%